



## わが子の将来のために 今すべきこと！

幼児教育に関する2つの実験を紹介します。

まず一つ目は、スタンフォード大学のウォルター・ミシェル教授の「マシュマロ・テスト」です。

被験者は大学の付属の保育園に通う550人以上の子どもたちです。被験者の子どもをマシュマロが1つ置かれた机に座らせ、「15分間食べるのを我慢できたらもう1つのマシュマロをあげよう。」と言い残し、子どもを1人で部屋に残します。約束を守った子どもは約3分の1でした。



その子どもたちを10年ごとに追跡調査を行ったところ、我慢した子どもは我慢できなかった子どもに比べ、対人関係やストレス耐性に優れ、学業も優秀ということでした。この傾向は、生涯ずっと継続していることが確認されており、就学前の子どもたちのセルフコントロールと規範意識を身に付けさせることが大切なことが分かります。

二つ目は、2014年2月に発表された京都大学の西村和雄教授の「基本的モラルと社会的成功」という論文の「子どものころのしつけが将来のその子の社会的活躍に影響する」という内容です。

無作為に抽出した9万人に対してインターネット調査を行っています。調査対象者について所得や学歴とともに、次の8つのしつけについてどれを受けた記憶があるかを質問しています。その8つのしつけとは、「ルールを守る」「あいさつをする」「他人に親切にする」「勉強をする」「親の言うことを聞く」「うそをついてはいけない」「ありがとうと言う」「大きな声を出す」です。

その中で「4つの基本的なモラル」(「うそをついてはいけない」「他人に親切にする」「ルールを守る」「勉強をする」)のしつけ全てを受けてきた人が所得も学歴も高いことを証明しました。

さらに、4つを全て覚えている人と1つでも忘れてしまった人では、年収にも大きな差が見られることが分かったのです。つまり、4つの基本的モラルを全て教える必要があります。4つの基本ができていれば、それ以外は後から継ぎ足すことができます。

「しつけは教えるのではなくて繰り返し覚えさせるものだ」という西村教授の言葉通り、幼児のころから記憶に残るまでずっと繰り返し言い続け、4つのしつけの種をまいておくことが重要です。

### 4つの基本モラル

“うそをつかない”

“他人に親切にする”

“ルールを守る”

“勉強をする”

この2つの実験から、今日マシュマロを買いに行き、テーブルに置いたからといって、優秀な子どもが育つかどうかはわかりません。要は、親の信念と愛情に支えられた「しつけ」が大切です。子育ての成果が分かるのは、10年、20年先です。親の考え次第で子どもの将来も変わるので、この機会に、「これまでの我が家のしつけ」と「これからの我が家のしつけ」をご家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか。

## 第85回 よい歯の表彰式 本校会場で実施

9日（金）須賀川歯科医師会主催の「第85回よい歯の表彰式」が本校を会場として行われました。大正7年からずっと続いていて今回で85回を迎えた歴史と伝統のある式です。保護者の皆様の中には、小・中学生のころ受賞された方もいるのではないのでしょうか。

今年は本校が会場のため、本校の4名の歯の優良児童、11名の作品入賞児童が、岩瀬地区を代表して田代歯科医師会会長様から賞状が渡されました。

また、式の中では、5年の武藤光輝君が堂々と特選に選ばれた作文を発表しました。

### むし歯の恐怖 5年 武藤 光輝

むし歯の進行はとてもはやい。だからぼくは、一日もはやく治りようしようと思っている。また、これからは、今までの何倍も気をつけて歯を磨いていこうと思う。歯ブラシをしっかりと歯と歯ぐきの間にあてて、細かくみがきのこしがないように、ていねいにみがこうと思う。うがいも増やし、むし歯菌を残さないようにしたい。そして、むし歯のない健康な歯で生活していこうと思う。来年の歯科検診では、むし歯ゼロをめざしたい。

※武藤君には申し訳ないのですが、紙面の都合上最後の部分のみ紹介します。



素晴らしい作文発表でした。武藤君

### 《歯の優良児童 6年》

薄井梨咲 関根桃花 高橋心優 山寺優成

《図画・ポスター》入選 6年 小野健太郎

《書写》入選 2年 武田優那 3年 松井彩華

4年 寺澤咲輝 5年 須田琴菜

《作文》特選 2年 本内啓太郎 3年 沼田結愛

5年 武藤光輝

入選 6年 須田菜月 6年 薄井梨咲

《標語》入選 5年 須田琴菜



歯の優良児童代表 関根桃花さん

## 6年車田彪流君が100m走で見事優勝！（郡山・岩瀬地区予選会）

3日（土）第33回全国小学校陸上競技交流大会福島県選考会郡山・岩瀬地区予選会が郡山市開成山陸上競技場で行われました。49チーム1231人の小学5・6年生が参加しました。本校からは22名参加し練習時の記録を上回る選手もいて大健闘しました。6年男子100m走に出場した車田彪流君が見事優勝し、7月9日（日）福島市で行われる県大会出場の切符を手に入れました。

### 陸上大会を終えて 6年2組 車田 彪流

ぼくは、全国小学生陸上交流大会福島県予選会郡山・岩瀬地区予選会の100mで優勝できました。そこで2つのことを実感できました。

1つ目は、多くの人たちに支えられているということです。みんなに応援してもらえたので、しっかり走ろうと思ったのです。2つ目は、自分の限界をこえることができたことです。練習では、タイムが13秒87でしたが、本番では、13秒48が出せたのです。もっと練習を積みばさらに良いタイムで走れるのではないかと思います。

県大会でも全力で取り組み自己ベストをこえるようにがんばります。

第1位の表彰授与 車田彪流君→



## 奉仕作業 早朝よりご協力ありがとうございました。

3日（土）PTAによる奉仕作業が行われました。

今年から5・6年は親子による奉仕作業となりました。早朝から多くの保護者（180名）、児童（53名）に参加していただきました。

窓ガラス掃除、除草、トイレ掃除、剪定、側溝の砂上げなど多くの作業がありましたが、皆様が一生懸命作業していただいたおかげで、とてもきれいになりました。ありがとうございました。



